

# 同友かがわ

2015.2月号 NO.451



## of Message

### 座談会 香川同友会後援の映画『アヒージョ!』 制作関係者が想いを語る

映画『アヒージョ!』監督・映画部会 武田 龍也 氏 (高松第3支部)  
プロデューサー・ 映画部会 成合 一康 氏 (高松第3支部)  
制作広報コーディネーター・映画部会長 福永 信也 氏 (高松第9支部)

## om Up

『世のため、人のため、地域のため』  
㈱FACE 代表取締役 永田 義彦 氏

『頼りになる存在』  
碧海総合法律事務所 弁護士 八木 俊則 氏

デザイン一新!  
見やすくなりました!

Q 香川同友会

search

## 座談会 香川同友会後援の映画『アヒージョ!』 制作関係者が想いを語る



出席

映画『アヒージョ!』監督

映画部会 武田 龍也氏

(高松第3支部)

プロデューサー

映画部会 成合 一康氏

(高松第3支部)

制作広報コーディネーター

映画部会長 福永 信也氏

(高松第9支部)

司会

広報委員会編集長

實川 靖浩氏

(高松第9支部)

**司会** 今回の『ホットメッセージ』はこの2月13日から開催予定の「さぬき映画祭2015」において上映され、香川同友会も後援している映画『アヒージョ!』について監督の武田氏とプロデューサーの成合氏、制作広報コーディネーターの福永氏をお迎えし、香川県の映画制作のメッカとも言える情報通信交流館eーとぴあ・かがわにてお話を伺います。まずはクランクアップおめでとうございませう。早速ですが、武田監督にお聞きします。監督は脚本も書かれたそうですが、映画のあらすじを簡単に話していただけますか。

**武田** ストーリーは高校生が香川県特産の食材を使って「料理甲子園」で上位入賞を目指すというお話です。主人公はニンニク農家のちよっぴり男まさりで、応援団の団長をやるよ

うな女の子という設定です。その子がふとしたことから万年2位の料理研究部の助太刀をして、常連の優勝校に立ち向かうという話です。映画のコンセプトは香川県の食の特産品を通じてその魅力を発信していきたいというものです。作品のテーマは応援、がんばれ!です。

**司会** ありがとうございます。ところで監督はなぜこの映画を撮ろうと考えたのでしょうか。

**武田** 映画制作への想いは3年前、震災でボランティアを経験し、被災地で『ガンバレ』という言葉が禁句だった事を、とても悲しく感じた時から始まっています。それは私自身に救われた事があるからです。大好きな映画のチカラで被災地の老若男女を応援したいと思えました。元氣になれる映画、元氣、から食材のニンニクにつながるのですが、実は香川県のニンニクって生産高が全国第2位なんです。さらに調べてみると日本一小さな県にも関わらず多種多様な食材、それも良質のものが沢山あることがわかりました。でも、ニンニクが青森に次ぐ生産量を誇っていることも、品質がソレに優るとも劣らないということも、殆どの県民の皆さんがご存知無いんですね。そこで香川で生産される食材が活躍する映画づくりを考え取材を始めたところ、坂出第一高校さんの「高校生レストラン」に出会いました。そしてそれをヒントに、高校生が料理



大会で腕を競うという物語が生まれたのです。実際に坂出一高食物科の皆さんはとても高いレベルの料理やサービスを提供していたので、そこを主軸にしてメニューにはアヒージョを登場させる事にしました。アヒージョはスペインの家庭料理でオリーブオイルをニンニク、タカノツメ（香川には香川本鷹があります）で味付けをして、魚介や野菜、肉類を煮込んだものです。手軽に調理出来るのと昨今のスペインバルブームも手伝って、だんだん人気が出てきたレシピなんです。香川県の産物にはピタリで、県産品を使った「さぬきアヒージョ」を発信できればうどん、骨付鶏に続く第三の食のコンテンツとして面白いものが作れるのではないかと考えました。

**司会** さぬき映画祭の優秀企画、県内人材育成部門に選ばれましたが、お話を伺っ

ていると武田さんの視点が良かったのではないかと思います。

**武田** そうですね。やはりその部分はとても喜んでいただけたいと思います。まず企画を出し、それが通ると2次のプレゼンに入りますが、1次の企画が通った段階で成合プロデューサーに協力していただき、下地固めに入りました。JAさんや香川県水産振興協会、県の農政水産部などを回り、映画の趣旨を説明、協力を仰ぎました。まもなく映画は完成しますが、映画作りの為に食材やロケ地を提供していただきました。2月22日の映画祭と同時に開催される、さぬきマルシェ in サンポート（香川県県産品振興課）では坂一食物科の生徒さんによるさぬきアヒージョの販売も企画いただいています。キャッチコピーである「観て、食べて、元気になる体験型映画！」を実現でき私達にとつて、とても嬉しい応援です。

**司会** 実際に食べられるとは、嬉しいですね。ところで成合さん、香川の特産品の3品以外にも映画に登場する特産品はありますか。

**成合** オリーブは小豆島がメインの産地ですが、ニンニクは西讃地区だけで栽培されていると思っていたのですが、女木島などでも栽培されていることを知り驚きました。ご質問の3品以外ですが、レタスやアスパラなどの栽培も盛んなことがわかりました。このように調べていくと次々にいろんな作物が出てきて、それらを1つずつ映画の中に取り入れることで新たな食文化が生まれてくるのではないかと思います。もちろん特産品の中には坂出の塩や醤油など、料

理づくりには欠かせないものもあります。香川に根づいた食文化を少しでも映画の中で見せられたらという思いで取り組んだように思います。

**司会** 映画づくりに関して地元や同友会会員との係わりは非常に重要だったように思いますが。

**成合** 同友会では異業種の方、それもそれぞれがプロですから、日頃携わっている仕事で映画づくりのどの部分で役立つのか。それぞれが得意とする分野で、自分はこのことができるのか、それなら俺に任せろなど、様々な形で係わりを持ってくれました。同友会の会員さんを巻き込んだ形での映画づくりが、もしかしたら協力していただいた会員の皆さんの新しい発見に繋がるのではないかと思います。いいありました。

**司会** たしかに異業種の集まりの同友会だからできるといえることがありますね。ところで地元の人たちの協力というか触れ合いはありましたか。

**成合** 多いにありました。撮影場所が坂出だったので、町をあげて協力していただきました。エキストラも含めて非常に助けられました。迷惑をかけた部分も結構あり、心苦しく思ったりしています。でも地元の皆さんに助けられて映画ができたというのが正直な気持ちです。

**司会** 映画に同友会の会員さんたちが登場するシーンはありますか。

**成合** あります。かなりいろんなところでエキストラで出てくれましたが、それだけではなく黒子的な活躍も結構してくれています。例えばセットづくりなどですが、会員さんだけでなく従業員の方やご





家族まで駆り出しての協力で本当に感謝しています。

**司会** 映画のシーンの中で顔見知りの会員さんを見つけたのも楽しみですね。多くの協賛や協力があったと思います。地域おこしとして連携した機関等々にはどんなところがありますか。

**成合** 武田監督の話にも出てきましたが、農協さんや漁連さんをはじめ、市の教育委員会など、今までお付き合いのなかった組織の方々と出会いましたが、刺激的で面白いものがたくさんありました。映画づくりを通して新たなお付き合いが生まれ、それが今後繋がっていくような気がします。

**司会** 今回の出会いが次に繋がるといいですね。では制作広報アドバイザーの福永さんにお聞きします。あらゆる方面でのパイプ役を見事に果たし、映画づくり

を影で支えられました。福永さんの今回の仕事は我々広報委員会としても非常に興味のあるところ。情報発信に関してどのような考え、どんな活動をされたのでしょうか。

**福永** 広報的には、この映画はこれから育てていく作品であり、いろいろなパースを組み上げていくのが、今後の展開になってくると思います。今回の映画には本当にたくさんの方に関わっていただきましたが、皆さんそれぞれに自分たちの思いを持って作品に関わってくれました。言い換えるとこの映画が好きだから手伝ってみたいとか、やってみたいという思いを胸に集まってくれたわけですね。そんな皆さんの発信が口コミとして広がり、輪をつくり、それが少しずつ大きくなっていく。そこから始まるだろうと思います。関わった人たちの家族や従業員の方たちに映画を見ていただき、自分たちの係わりを確認していただき、映画の話や周囲の人にしていただき、話を聞いた人たちが映画を見に行っていたら最高です。これが映画づくりの醍醐味のように思います。また2月開催予定のさぬき映画祭での上映だけではなく、東北の被災地での上映などもできるのではないかと考えます。そのようにいろんな可能性を秘めていると思います。同友会では映画部会の形で立ち上げましたが、正直お話できるような活動はまだありませんが、今回の作品『アヒージョ!』の上映や、昨年、取材オフアールを受けた東京国際映画祭に今年もプレスの方で入ったとき、映画祭の中のどういうところに自分たちが入っていかを探ってみたいと

考えています。どんな繋がりができるかを見つけたらと思ったりしています。これからの課題であり、やらなければならぬことだと思えます。

**司会** たしかに口コミの力は大きいと思います。人の力が一番のキーワードのような気がします。

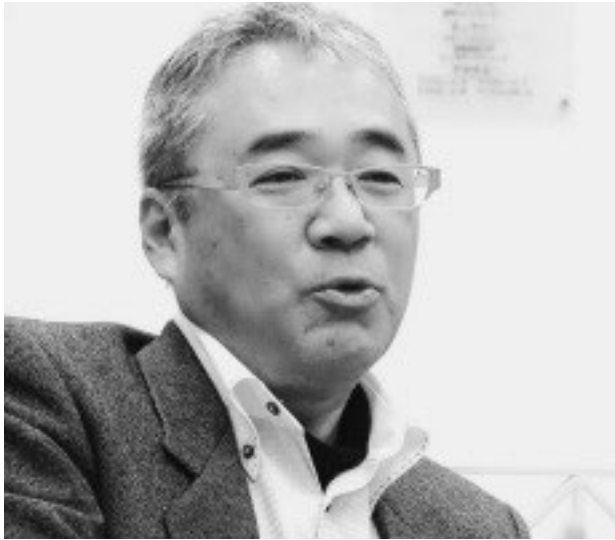
**福永** 大手配給映画は全ての流れを含めて予算を組み、多額の費用をかけますが、我々はそういうものではないわけです。何処とどういふふうに勝負するとか、作品をどうやって皆さんに見てもらおうかというところ、大手とは全く別ルートで、公民館の上映も然り、インターネットでの配信然り、島嶼部での上映も然り、いわば手づくり感満載の自分たち流の活動が求められていると思います。今は機材が驚くほどよくなり、コンパクトになっているので持ち運びが簡単ですから、何処でも出前が可能です。今は自主制作の映画の中から素晴らしい作品を制作する監督がたくさんデビューしています。

**司会** 映画制作の現場は大きく様変わりしているようですね。

**福永** 今までとは全く違う発想で、違う流れで映画を見る機会が増えたというのが今の流れですね。

**司会** ところで映画による地域の経済振興にはどのような効果がありますか。

**福永** 直近でいうと、例えばアベノミクスの地方創生ではありませんが、映画づくりを勉強できるところが香川にはありません。そこで勉強した人がクリエイターの仕事などで活躍できるようになれば、それはまさに地方創生だと思います。都市圏集中ではなく地域にいても仕事で



き、生きがいが見つけれられる環境があれば、若い人たちはおのずと集まってくるように思いますし、いろんなことができようになるのではないのでしょうか。アイト県やうどん県はその1つの成功例ではないかと思えます。

**司会** 最後に武田監督にお聞きしたいと思います。今回の映画づくりが監督にとって初めての挑戦となったわけですが、振り返っていかがですか。

**武田** まず皆さんに、ありがとうございます。ありがとうございました。本当に沢山の皆さんに助けていただきました。振り返り改めて自分のやった事を考えてみると、最初に「こんな映画を作りたい」と旗を振り、キャストさんをオーディションで選抜して、スタッフを数名の方にお願しました。実は私がやったのはここまでなんです。そこから先はスタッフさん、キャ



ストさんが本当に我張ってくれました。それがとても嬉しかった事です。課題ですが、勢いで走った感が非常にあります。たぶん経験不足からくるものだろうと思いますが、走りながら道をつくるという状態でした。何しろ全員が初めての経験なので、皆さんと一緒に道をつくりながら進んできたわけです。ですから今度は次の作品や次の作品づくりに係わる人たちにはどんな形でバトンを渡せるかが大切で、そこをしっかりと考えなければならぬと思います。結果的に現段階までは自分的には上出来といえるところまでいっていますが、それは実力ではなく幸運だったというか、たまたまという印象です。これからはたまたまではなく、しっかりとしたものをつくりあげ、それを次の人たちに渡していかなければならないと強く思います。

**司会** 道をつくりながら進んだというお話、胸に響くものがありました。貴重なお話、ありがとうございます。

### 映画「アヒージョ！」上映スケジュール

※急遽変更となる場合がございます。

|          |                   |
|----------|-------------------|
| さぬき映画祭   | 場所:e-とびあ・かがわ      |
| 2/17(火)  | 16:10~            |
| 2/19(木)  | 18:40~            |
| 2/20(金)  | 15:20~            |
| 2/22(日)  | 16:50~            |
|          | ・キャスト参加<br>・制作者登壇 |
| 特別上映     | 場所:高松国分寺ホール       |
| 2/21(土)  | 15:00~<br>19:00~  |
| 高松第3支部例会 | 場所:頭脳化センター        |
| 2/23(月)  | 19:00~            |
|          | ・キャスト参加           |

